＜平成 27 年度大阪府高等学校校外学習研究発表会開催概要＞

日　時:平成 27 年 5 月 29 日(金)15:10～
場　所:大阪府立大手前高等学校
発表校:箕面自由学園高等学校
テーマ:「沖縄で身近な海外体験」

石垣島にあるリゾートクラブ「クラブメッド石垣島」での生活、体験の実践報告。
外国人スタッフと共に、アクティビティのレッスンや集団のコミュニケーションを図るチームビルディングなどを英語で楽しみながら、異文化に触れる喜びを体験できた修学旅行の取り組みである。

≪実施要領≫

〇旅 行 先　八重山諸島
〇時　　期　A 団　平成 27 年 2 月 27 日(金)～3 月 2 日(月)
　　B 団　平成 27 年 2 月 28 日(土)～3 月 3 日(火)
〇実施学年:第 2 学年
　　A 団　6 クラス　220 名　引率教員 11 名
　　B 団　8 クラス　229 名　引率教員 11 名
〇日程概要

A 団

1 日目:2 月 27 日(金)
関西空港発　石垣空港着　川平湾・御神崎観光　フサキリゾート泊
2 日目:2 月 28 日(土)
西表島・竹富島・石垣島選択体験　クラブメッド石垣島泊
3 日目:3 月 1 日(日)
クラブメッド石垣島内アクティビティ(午前)
チームビルディング(午後)　クラブメッド石垣島泊
4 日目:3 月 2 日(月)
やいま村観光　石垣港周辺散策　石垣空港発
那覇空港経由伊丹空港着

B 団

1 日目:2 月 28 日(土)
関西空港発　石垣空港着　川平湾・御神崎観光　クラブメッド石垣島泊
2 日目:3 月 1 日(日)
チームビルディング(午前)・クラブメッド石垣島内
アクティビティ(午後)　クラブメッド石垣島泊
3 日目:3 月 2 日(月)
西表島・竹富島・石垣島選択体験　フサキリゾート泊
4 日目:3 月 3 日(火)
やいま村観光　石垣港周辺散策　石垣空港発
那覇空港経由伊丹空港着

※詳細:月刊「教育旅行」2015 年 9 月号掲載

沖縄で身近な海外体験

63回生　第2学年主任　廣瀬　一平

大阪府　箕面自由学園高等学校

●学校紹介

本学園は、大阪府の北部箕面市に位置し、「授業力・しつけ・課外活動のバランスがとれた極めて上質の普通の学校」「生徒が伸び伸びと個性を活かせる学校」を目指して今年90周年を迎える。高等学校は昭和26（1951）年創立、全日制普通科、「教養高き社会人の育成」を教育理念とし、品位ある人間形成を目指し、しつけ・勉学・クラブ活動のバランスのとれた全人教育を進めている。総合進学コース・特別進学コース・スーパー進学コース・クラブ選抜コースの4つのコースから成り立ち、生徒数は1400名を越える。

実施要項

○旅行先　八重山諸島

○時期　A団　平成27(2015)年2月27日(金)～3月2日(月)
　　B団　平成27(2015)年2月28日(土)～3月3日(火)

○実施学年　第2学年　A団　6クラス　220名　引率教員11名
　　B団　8クラス　229名　引率教員11名

○日程概要

A団	1日目：2月27日（金）	関西空港発　石垣空港着　川平湾・御神崎観光 フサキリゾートヴィレッジ泊
	2日目：2月28日（土）	西表島・竹富島・石垣島選択体験　クラブメッド石垣島泊
	3日目：3月 1日（日）	クラブメッド石垣島内アクティビティ（午前）・ チームビルディング（午後）　クラブメッド石垣島泊
	4日目：3月 2日（月）	やいま村観光　石垣港周辺散策　石垣空港発　那覇空港経由 伊丹空港着
B団	1日目：2月28日（土）	関西空港発　石垣空港着　川平湾・御神崎観光 クラブメッド石垣島泊
	2日目：3月 1日（日）	チームビルディング（午前）・クラブメッド石垣島 内アクティビティ（午後）　クラブメッド石垣島泊
	3日目：3月 2日（月）	西表島・竹富島・石垣島選択体験 フサキリゾートヴィレッジ泊
	4日目：3月 3日（火）	やいま村観光　石垣港周辺散策　石垣空港発　那覇空港経由 伊丹空港着

63回生修学旅行について

本校の修学旅行は、修学旅行委員会（管理職・英語科主任・人権教育部長）が行き先を決定し、3年ごとに見直すこととなっている。62回生からの3年間（平成25（2013）年～平成27（2015）年）はフィリピンのセブ島で行う予定であった。しかし、2年生（62回生）の修学旅行が地震と台風のため、国内へ変更となり、63回生修学旅行も「国内修学旅行」で再度練り直すこととなった。

平成25（2013）年10月4日～7日に吹奏楽部が、「スマイルプロジェクト」の一環として、陸前高田市を含む4市6会場で演奏活動を行っていた。その体験・交流・感動をすべての生徒たちに感じさせたい、復興に微力でも参加できないかとの思いから、東北（花巻2泊・民泊1泊）に決定し、平成26（2014）年4月末に保護者に変更を文書で伝えた。

しかし、ゴールデンウイーク明けより保護者の中からはさまざまな意見が寄せられた。東北修学旅行決定の経緯・意義などを説明したが、最終的に全員が参加できる修学旅行ということで、東北修学旅行を断念せざるを得なくなった。

10月実施予定の修学旅行を、2月末～3月に変更し、世界的なリゾート企業であるクラブメッドを中心に石垣島方面で実施することを決定した。広大な敷地のリゾート地を貸し切って、一体何ができるのかと不安であったが、クラブメッドの特性を活かした取り組みがクラブメッド側より提案された。特に、魅力を感じたのは、G.O※（Gentle Organizer）の存在であった。世界中から集まったG.Oと異文化交流が自然にでき、リゾート滞在中快適な時間を過ごしてもらうために、きめ細かなおもてなしをするスタッフ達と、今までと違った修学旅行ができるのではないかと感じられた。

※ クラブメッドで働くスタッフのこと。

●重点を置いた活動

指示待ちではなく、
主体的に自分たちで何をすべきかを考えて動くこと

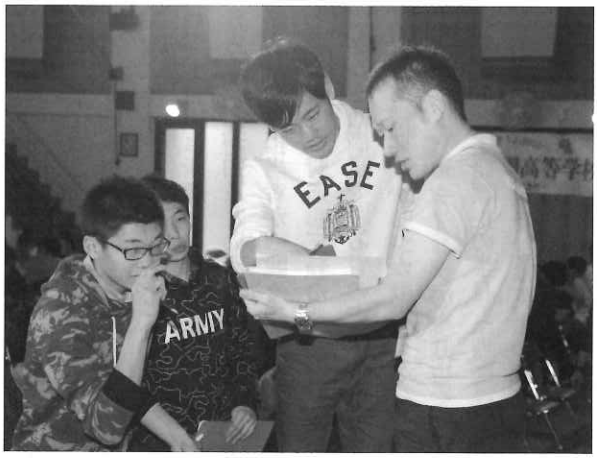
クラブメッド石垣島での3日間

クラブメッド石垣島滞在3日間でメインとなるのが、初日と2日目の夜に行われた「G.Oショー（箕面自由学園ナイト）」と2日目に行われた「チームビルディング」であった。

「G.Oショー（箕面自由学園ナイト）」

全員参加。1日目は盛り上げるバージョン、2日目はおとなしめのバージョン。（クラブメッド談）

本来、シアターは、200席ほどの座席数であるが、全てをパイプ椅子に入れ替え、449人全員の座席を確保した。G.Oが様々なパフォーマンスを繰り広げる。生徒・教員数名も舞台に上がり、G.Oとともにダンスなどに参加。チアリーダー部やアメリカンフットボール部の部員を中心に、盛り上がった。



チームビルディング（宝探しゲーム）

G.Oショー（箕面自由学園ナイト）

「チームビルディング（宝探しゲーム）」

A団は2日目午後、B団は2日目午前に実施

クラブメッド石垣島の全敷地を使い、G.Oとの交流を深めながら、英語で書かれたミッションをクリアーし、チーム（7～8名）で協力しながらの宝探しゲーム。

a．シアター集合、ルール説明

b．英語で書かれたG.O Challenge(Place)をもらい、解読後、各ポイントへ

GO Challenge ①

Place

(Hint)
Scissors
Stone
Paper ＋ 王様　　A、

c．ポイントで、G.Oと英語でゲームなどを行い、Check Pointをもらう

d．英語で書かれたCheck Pointのミッションのクリアーを目指す

Check Point 1

How many vending machines are in ClubMed Ishigakijima?

e．シアターで、ミッションをクリアーしていれば英語で書かれたGO Challenge(Clue)をもらう

GO Challenge ⑤

Clue

near Okinawa Lion

f．GO Challenge(Clue)で宝が見つけることができなければ、bに戻る

修学旅行全体を通して

クラブメッド石垣島の3日間をメインにし、竹富島（たけとみ）・西表（いりおもて）島、石垣島内で川平（かびら）湾や鍾乳洞・やいま村を巡り、伝統・文化・自然に触れる時間も設定した。

修学旅行は、伝統文化に触れる・異文化理解・学校訪問やホームステイなど地元の方々との交流、アクティビティや大自然を体験する、生徒の自主活動などに重きを置くことが多い。しかし、今の生徒の状況を見ると、クラブや勉強にそれなりに全力を尽くし、常に時間に追われている。そこで、あえてゆっくりと時間が動き、次に何をするか、与えられるのではなく、自ら見つけ出すことも大切ではないか。そんな思いから、クラブメッド石垣島の3日間を中心とした修学旅行を企画した。

クラブメッド石垣島に決定したのが7月、夏休みを挟み、具体化されていったのが2学期中間考査明け（10月末）であった。生徒に対しての事前学習は全くできず、クラブメッド石垣島での企画は、完全にクラブメッド任せとなった。そのため、チームビルディングは、当日に初めてやり方を教師が知るという状況であった。クラブメッドの担当者が、我々の意図をしっかりと汲み取って対応していただいたので、生徒にとっては満足できるものであったと思う。

ただ準備期間がしっかり取れたならば、例えばチームビルディングのやり方やG.Oとの交流・日本語禁止の半日（実際、チームビルディングの際、受付は英語のみであった）など様々な取り組みができ、もっと身近に沖縄で海外体験ができたのではないかと感じる。

生徒の感想から

2／27～3／3にかけて、私たち63期生は石垣島へ3泊4日の修学旅行に行きました。

A団・B団の2つの班に分かれ、私はA団として先に出発しました。飛行機が着陸態勢に入り、高度を下げていくと、いきなり海の色が変わり、「沖縄に来たんだ」と心が躍りました。

私たちのクラスは、着いて直ぐに日本有数のサンゴ礁の棲息地である川平湾に行きました。そこには誰もが想像する南国の海が広がって、普通の日本の海しか知らない私は、エメラルドグリーンの海にとても興奮しました。

2日目の午前中は石垣焼という伝統工芸を体験しました。それは、吸い込まれるようなきれいな青色の焼き物で、とても貴重な体験ができました。その日の午後は、マングローブ樹林のある宮良川でカヌー体験をしました。友だちと競争したり、マングローブの間をゆったりと進んだりと川の上で自由な時間を過ごしました。

英語で料理教室

G.Oとともに夕食

G.Oとともに温水プールで

G.OとTシャツ作り

その後、私たちはクラブメッド石垣島に移り、1日遅れて出発したB団と合流しました。私が一番驚いたのはスタッフの人数が多く、クラブメッド石垣島が貸し切りだったということです。ほとんどが外国人スタッフ（G.O）で、何をするにもとてもテンションが高いことです。夕食は、高校生には似つかわしくないほど豪勢なバイキングでした。食後は、G.Oの方々のダンスや歌、劇などのナイトショーがあり、感動しました。クラブメッド石垣島での自由な時間は、皆好きなことができ、私は友だちとスカッシュや卓球をしたり、ジュースを飲みながら話をしたりと自由度が高く、とても楽しかったです。

3日目、この日は私がこの修学旅行で一番楽しみにしていた体験ダイビングの日でした。

テレビなどでは何度も見たことはあったのですが、一度も体験したことがなく、とても不安でした。いざ、海に入ると、最初は耳が痛く少しパニックになりました。潜って実感したことは、生き物の多さでした。海底はサンゴに埋め尽くされ、水族館でしか見たことのないような魚があちらこちらに、手のひらほどの大きさの巻貝など、とても自然豊かな海で、「将来またここに来たい！」と強く思いました。

クラブメッド石垣島に戻ると、チーム対抗のチームビルディングが開催されました。8人1組となり、G.Oの方々のクイズに答えてヒントを集め、宝を探すゲームでした。私のチームは、3位で、宝を見つけることができました。

最終日、「やいま村」という石垣島の伝統的な住居などが保存されている施設を訪れました。普段見ることのない建物を見たり、動物に触れたりと別の国にいるような感じでした。

帰りは、那覇空港を経由して伊丹空港に到着しました。ハッチが開かれた瞬間、冷気が流れ込み大阪に帰ってきた実感がわきました。4日間も沖縄にいたので、大阪があまりに寒く感じました。

高校生活の中でもっとも大きいイベントを無事終えることができてよかったです。また行きたいと思ったほど、素晴らしい修学旅行でした。